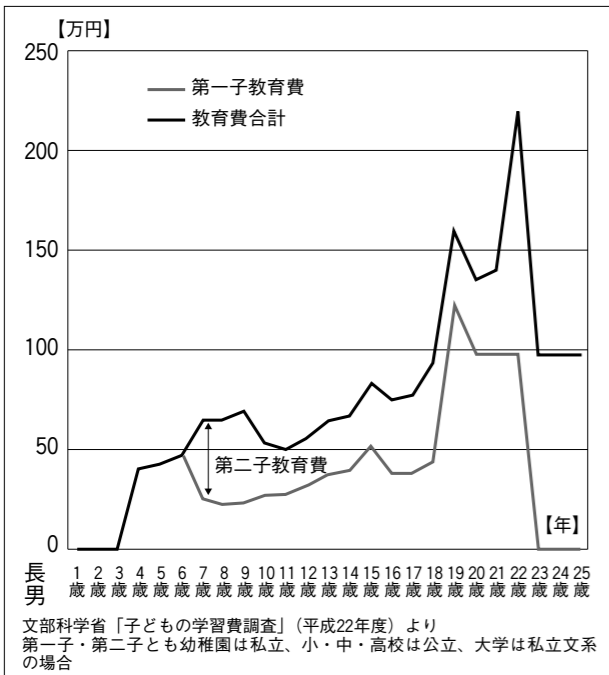


図表1 Aさん夫婦のプロフィール

Aさん	: 会社員	30歳	年収420万円
妻	: 専業主婦	30歳	
長男	: 0歳		

図表2 3学年違いの2人の子どもにかかる教育費積算



り10万円程度の差異はあるものの、現行制度が続けば、児童手当を全額積み立てるだけで中学卒業までにおよそ200万円を用意できる。「児童手当は子どものおけいここの資金に」という相談者には、前述の必要となる時期と金額の目安を提示して、教育費がこれからいかに増えていくかを理解いただきつつ、公共施設の講座やスポーツなど親子で楽しめる地域の情報収集をお勧めしている。

教育資金の「貯め時」を把握 早いうちから貯蓄体質家計に

教育資金が住宅資金や老後資金と異なる点は、大学進学時をピークとした漸増型の支出カーブにある。児童手当以外で教育資金をつくるには、そのカーブの緩やかな時期、つまり家計の「貯め時」を認識していただくことが重要だ。

図表2は、3年後に2人目が誕生

生じた場合の子どもにかかる教育費の積算状況である。教育資金の貯め時は、子どもが小学校低学年までのおよそ10年間あるものの、幼稚園時代は教育費がかさむため、やや貯蓄がしづらい時期になる。

また、第二子が誕生した場合、1人分のカーブの上に時間差で積算されていく。その後は、ほぼ右肩上がり教育費が上昇する。ここでは教育費のみの数字にとどめているが、子どもの成長とともに増えるのは教育費だけでなく、食費や通信費など多岐に渡り、住居費や住宅ローンなどの絡みも出てくる。

私立中学進学希望の場合、小学校高学年から

進学準備のための塾代、たとえ公立進学希望でも、補助学習やおけいここと、中学生になれば高校受験準備のために、学校外教育費がかさむ傾向にある。子どもの誕生日もない時期で教育費がかららない時にはなかなかイメージしづらいが、CF表を用いて、柔軟に対応できる今こそがんばり時ということをお伝えするのは、貯蓄体質の家計にしていくなためにも重要だ。

資金準備は子ども保険が有効 受取時期や方法、祝金も着目

教育資金は、17、18年後の資金作りという点から積立の時間は十分にあるものの、扶養者に万一の場合は積立が途絶え、十分な準備ができなくなるというリスクも抱

A 教育費の準備は時間を味方につけるのが最善策です。大学進学を前提とした目標額は、子ども1人につき300万円。家計の貯め時は、子どもが生まれた時からおよそ10年です。児童手当はできるだけ全額教育資金に回し、貯蓄性のある子ども保険の積立システムなどを利用して、1日でも早く準備を始めましょう。

大学進学時の必要額を提示 日頃から家庭で話し合いを

子どもの教育費は大学進学時にピークを迎える。子どもが生まれて大学に進学するまでには18年。この時間を使ってコツコツと貯めていくことが、教育資金準備の最大のポイントである。

もちろん、この間にも、おけいここと、授業料、塾などの教育費がかかるが、どのような進学コースをとるにせよ、高校までの教育費は日々の家計で賄うのが基本になる。子どもの教育方針については、日頃から夫婦でよく話し合っ

事例で学ぶ 教育資金アドバイスのポイント

CASE 1 教育資金準備と子ども保険

第一子を出産したばかり。将来に備え、子どもの教育資金の準備方法を知りたい。

Q 私たち(Aさん夫婦)に初めての子どもが生まれて3ヵ月。やっと少し落ち着いてきたところ、子どもの教育資金の準備は早いほうがよいと聞きました。いつから、いくらぐらいを目標に準備をすればよいでしょうか。子どもの進路は、今のところ高校までは公立、大学は自宅通学であれば私立でもよいと考えています。将来、2人目も希望しています。

中上直子 子どもにかかるお金を考える会 ファイナンシャル・プランナー

ておくことをお願いしたい。

高校卒業者の半数が大学に進学する現状では、教育資金準備は大学進学が前提になる。4年間の大学納付金は、私立文系で400万円超、私立理系では600万円あたりが現実的な必要額だ。Aさん夫婦には300〜400万円を目標に準備するようアドバイスした。

児童手当を原資に15年間で200万円を準備する

児童手当は、認定を受ければ原則として申請した月の翌月分の手当から支給される。特に第一子の誕生日もない家庭は、将来の教育資金を確保するために、受取り済み分を含めて全額教育資金の原資にすることを勧めたい。

所得制限内(扶養親族が2人の場合の給与収入額の目安は、917万8000円)であれば、第一子と第二子の場合、現行制度で0歳から3歳未満までは1ヵ月1万5000円。3歳から中学生の間が1万円。子どもの生まれ月によ